

バデ・バーバの永遠の贈り物 マーク・マクラフリン

おはようございます！

皆さん、このバガヴァーン・ニッティヤーナンダの太陽暦のプンニャティティを祝うシッダ・ヨーガ・サツァングによろこそ。

私の名前はマーク・マクラフリンです。バージニア州で、南アジアの宗教の教授をしており、妻のアーシャと2人の息子、アーナンダとシャムブと暮らしています。

そして、ここシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで訪問セーヴァイトとして奉仕できることにわくわくしています！ このサツァングで司会を務めることも、同じようにとても嬉しく思います。

7月 31 日水曜日に、バガヴァーン・ニッティヤーナンダ・テンプルでグルマーイと共に、バガヴァーン・ニッティヤーナンダの太陰暦のプンニャティティを祝うサツァングが行われました。シヴァーリニ・キンズリーが司会を務め、バデ・バーバのプンニャティティの意義について語りました。シヴァーリニの発言の中で、グルマーイが彼女に参加者全員のためにもう一度繰り返すように頼んだ一文がありました。私が今日ここで、皆さんとさらに詳しく探究したいのはその一文です。

その一文とは、

今日は、バガヴァーン・ニッティヤーナンダが肉体を離れ、彼の神聖な功德、彼のプンニャをすべての彼の信奉者たち——彼を崇拝し敬愛する者たち——に授けた日から 63 年目の太陰暦の記念日に当たります。

それからグルマーイは、人々がこの文章から何を理解したかを尋ねました。何人かが分かち合った後、グルマーイはウジャガル・クシュニクと私に、私たちが言ったことを繰り返すようにと言いました。

私のコメントは、偉大な存在が肉体を離れる時に信奉者にプンニャを授けるプロセスに焦点を当てており、ウジャガルのコメントは、信奉者がプンニャを受け取るためにどのような行動を取るかに焦点を当てていました。

今日、このサツァングでは、バデ・バーバが神聖なプンニャを授けるというこの並外れた神秘的な出来事について、さらに深く掘り下げていきます。そして、グルの弟子である私たちが、どのようにしてこの計り知れない贈り物を受け取れるようになるかを探究します。

シヴァーリニが説明したように、プンニャとは「功德」を意味し、バガヴァーン・ニッティヤーナンダのようなシッダの場合、それは「神聖な功德」を意味します。

プンニャは特定の種類のカルマです。多くの方がご存じのように、カルマとは、行った行為と、長い時間にわたるその行為の結果を指します。そして、プンニャ・カルマとは、良い功德、幸運、あるいは祝福をもたらす行為や行いを意味します。

さて、バガヴァーン・ニッティヤーナンダ——生まれながらのシッダ、マハーシッダ——について少し考えてみましょう。バガヴァーン・ニッティヤーナンダが無私のそして慈悲深い行いを通して、その生涯の間に蓄積した計り知れない功德を少しでも想像することができるでしょうか？解放された存在が人生の終わりに肉体を離れる時、その人のプンニャ・カルマによって最も奇跡的なことが起こります。これを理解するには、まずプラーナ、つまり人の生命力、肉体を活性化する生命力について話さなければなりません。これはプンニャ・カルマを含め、人のカルマはプラーナに蓄積されているからです。

普通の人がこの世を去る時、その人のプラーナはそのプラーナ内のカルマによって形作られる新しい人生へと旅立ちます。

しかし、バデ・バーバのような解放された存在は、肉体を離れると、そのプラーナは新しい人生には旅立ちません——そのような存在は再び生まれることはないのです。代わりに、瞑想の実践を会得した解放された存在は、生命力を自分の存在の中心経路に引き込み、頭頂へと上昇し、そこで至高なる意識と融合します。

今や完全に自由で、束縛されず、無限で、永遠であるため、プラーナはもはや必要ないので、『ヤジュル・ヴェーダ』の一部を構成する『ブリハダーラニヤカ・ウパニシャッド』は、完成された存在の人生におけるこの最終的な出来事をこのように描写しています。

欲望のない者...その欲望が達成された者、その欲望が大いなる自己である者[ナー・ターシャ・プラーナ・ウトクラマンティ]、そのプラーナはもはや上昇しない。ブラフマンであるその者は、ブラフマンの元に行く。

そうです、シッダのプラーナに蓄えられたプンニャは頭頂にとどまり、そのシッダを崇拝し敬愛するすべての人々のために、その偉大な功德を発散し続けるのです。

バデ・バーバが長い生涯をかけて集めたこの無限のプンニャの貯蔵庫は、私たち皆への永遠の贈り物です。これが、私たちが体験する、ガネーシュプリー村にある彼のサマーディ・シュラインから放たれている慈悲深い力です。

しかし、この力はサマーディ・シュラインの空間に閉ざされたものではありません。無限で永遠であるため、どこにしようと誰にでもすぐにアクセスできます。

では、どうすればこの神聖な功德の贈り物を受け取り、体験できるようになるのでしょうか？ その手掛かりは、シヴァーリニの文章の後半にあります。

...[バデ・バーバは]彼の神聖な功德、彼のプンニャをすべての信奉者たち——彼を崇拝し敬愛する者たち——に授けた。

「彼を崇拝し敬愛する者たち」

これが、バデ・バーバから私たち皆への崇高な贈り物を受け取るための鍵です。太陰暦のプンニャティティのサツァングでウジャガルが言ったように、「偉大な存在のプンニャを受け取るために信奉者の心を開くのは、崇拝の行為です」

崇拝は、バデ・バーバが絶え間なく私たちに降り注いでいる偉大な功德を迎え入れるために、私たちの全存在を準備するものです。教典や詩聖たちの言葉には、愛と献身をもってグルを崇拝するようはっきりと指示する言葉がたくさんあります。

13 世紀の偉大なシッダであるニャーネーシュワル・マハーラージは、その著作や詩を通して、崇拝と敬意を通して、私たちがどのようにこの偉大な功德を受け取るかを示しています。

『ニャーネーシュワリー』と呼ばれる彼の有名な『バガヴァッド・ギーター』の翻訳と解説から、そのような詩の絶妙な例を幾つか紹介しましょう。

ニャーネーシュワルは言います。

おお、神よ、グルよ、あなたに敬意を。
あなたは想像する思考の力を超えた、
願いをかなえる木のようにあり、
大いなる自己の知識の種が育つ土壌のようです。
ハスは太陽の光を受けて開くのをためらうでしょうか？
塩は水に触れてその形を失わないでしょうか？
同じように、あなたを思い出す時、
私は自分自身の個別性という考えをすべて失います...
...あなたが私をあなた自身で満たしてくださったので、
私は自分自身という意識をすべて失い、
そして、私の声はあなたを賛美したいと切望するのです。

ニャーネーシュワルはここで、崇拝を通して、グルが私たちに与えているもの——私たちの真の自己の体験——を受け取る準備をすることを示しています。崇拝が広がるにつれて、私たちは自分の心の中にグルの存在を認識します。これを覚えていることを通して、私たちは自分自身とグルの間の見せかけの分離を解消します。そして、この一体性の認識は、これまで以上に集中と愛をもって崇拝したいという切望をもたらします。

そして今、私たちはまさにそれを行います——「ニッティヤーナンダム・ブラフマーナンダム」をチャンティングすることによって、バガヴァーン・ニッティヤーナンダへの献身を表明します。

姿勢を正します...

楽に呼吸してください...

このナーマサンキールタナは、献身、平和、慈愛を呼び起こすヤマン・カリヤーン・ラーガです。

そして祝福を祈願します。

これからチャンティングするバデ・バーバの美しい名前の幾つかの意味を聞いてください。

ニッティヤーナンダム——「永遠の至福」

ブラフマーナンダム——「絶対なる者の至福」

シュリーグルデーヴァン——「神聖なるシュリー・グル」

オーム・ナモー・ニッティヤーナンダム——オーム、バガヴァーン・ニッティヤーナンダに頭(こうべ)を垂れます。

私たちの敬愛するバデ・バーバをたたえてチャンティングしましょう。



© 2024 SYDA Foundation®. 著作権所有。

¹*Brihadaranyaka Upanishad*, 4.4.6; English translation © 2024 SYDA Foundation®.

²*Jnaneshvare*, 18.10, 16-18; English translation © 2024 SYDA Foundation®.